

# ためこまないで！



アトシ

アトシ

## がんばりすぎず 周囲の協力得て

**子**どもがどんなにかわいくても、一緒に過ごす時間が長いと、イライラしてしまうこともあります。児童虐待は、実母によるケースが約6割を占めている（厚生労働省2010年度福祉行政報告例）というデータもあります。

虐待までいかなくても、親のイライラは子どもに悪影響。心と体力に余裕を持つためには、がんばりすぎないことで、周囲の協力が欠かせません。ところが、日本の男性の育児時間は1日平均30分程度、家事時間を加えても約1時間と欧米の3分の1程度。父親や祖父母など、さうなる周囲の協力が望れます。

妊娠・出産・育児と、母親の心と体

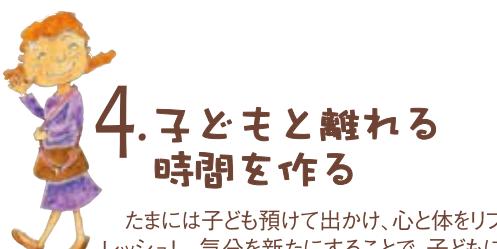
はほとんど変化します。産前産後は女性ホルモンのバランスが急激に変化する上、子育てが始まると赤ちゃん中心の生活になり生活リズムが崩れます。そういうときに必要なのが家族の理解や相談できる相手です。

父親は子育てや家事を手伝うだけではなく、母親の話をしっかりと聞いてあげましょう。日常の話や不安を聞いてあげるだけで、心が軽くなります。また、出産前から子育てについて学んでおくこと。どんなことがあるかを、知っているだけでも安心でき、子育て生活のイメージトレーニングをしておくと心に余裕ができます。



## 1. がんばりすぎない

掃除など家事は割り切って手抜きすることも必要。虐待に走るのは、家事や子育てをきちんとしたいという完璧主義者も多いのです。子どもと一緒に昼寝をするなど、体を休めて。子どもの寝息を聞いたり、温かさを感じることで、子育ての幸せも実感できます。



たまには子ども預けて出かけ、心と体をリフレッシュ！ 気分を新たにすることで、子どもに優しく接することができます。子どもにも好影響です。家族に預ける以外に、一部の保育園などで行われている一時保育（有料）も利用することができます。

## 2. 甘え上手になる

親だけで抱え込まずに、周りの人にも協力してもらいましょう。最近は「イグジ」など孫育てに関わる祖父母も増えています。可能であれば、安全への注意や甘やかしすぎないなどの注意事項などを伝え、協力をお願いしてみましょう。



## 3. 子育て仲間を作る

悩みや苦労を話すことで、「大変なのは自分だけじゃない」と心強くなれたり、問題解決のヒントが見つかるのが子育て仲間の良さ。ただし、ママ友との交流が負担になるときは少し距離を置いて。

## Q5. 子育て支援サービスを利用

各地域の子育て支援センターでは、子育て相談や子育て支援の情報を得ることができます。子どもの遊び場や一時保育があるところもあるので、一緒に出かけてみて。また、妊娠中から出産後まで関わる保健師や小児科の看護師は子どものプロ。不安や疑問を相談してみましょう。

子どもが泣きやまない、しつけが難しいなど、子育ての不安やストレスを一人で抱えていませんか？ 子育ては初めての連続。子どもの成長や距離感など分からないことだ

取材協力／県健康福祉部子育て支援課

うけで当たり前です。子育てを応援するため、さまざまなサポート体制が準備されています。子どもに手をあげたり、どなつたりしてしまった前に気軽に相談してみましょう。



## 相談先一覧

子どもや家庭に関する相談に応じてもらいます。自分の子育てに不安があれば、気軽に相談を。また、周囲から孤立している親子がいる、子どもの表情がとぼしいような気がするなど、気になるケースがあれば、ご連絡ください。電話・メール相談は匿名でも可能です。

### ◆ 子ども女性相談センター

高松市西宝町2-6-32  
相談専用電話 087-862-4152(月～土曜9:00～21:00)  
メール <http://www.pref.kagawa.jp/kosodate/kodomo/mail>

- ◆ 高松市こども女性相談室 ..... ☎087-839-2384
- ◆ さぬき市子育て支援課 ..... ☎0879-52-2517
- ◆ 東かがわ市子育て支援課 ..... ☎0879-26-1231
- ◆ 土庄町健康増進課 ..... ☎0879-62-1234
- ◆ 小豆島町子育ち共育課 ..... ☎0879-82-7010
- ◆ 三木町住民生活課 ..... ☎087-891-3303
- ◆ 直島町住民福祉課 ..... ☎087-892-2223

### ◆ 西部子ども相談センター

丸亀市土器町東8-526 ☎0877-24-3173

- ◆ 丸亀市子育て支援課 ..... ☎0877-24-8808
- ◆ 坂出市こども課 ..... ☎0877-44-5027
- ◆ 善通寺市こども課 ..... ☎0877-63-6365
- ◆ 観音寺市子育て支援課 ..... ☎0875-23-3962
- ◆ 三豊市子育て支援課 ..... ☎0875-73-3016
- ◆ 宇多津町保健福祉課 ..... ☎0877-49-8003
- ◆ 綾川町健康福祉課 ..... ☎087-876-1113
- ◆ 琴平町福祉課 ..... ☎0877-75-6706
- ◆ 多度津町福祉保健課 ..... ☎0877-33-4488
- ◆ まんのう町福祉保険課 ..... ☎0877-73-0214

### ◆ 福祉事務所

- ◆ 小豆総合事務所保健福祉課 ..... ☎0879-62-1373
- ◆ 東讃保健福祉事務所健康福祉総務課 ☎0879-29-8264
- ◆ 中讃保健福祉事務所生活福祉総務課 ☎0877-24-9960



## 子どもの虐待

子どもの虐待は、大きく4つに分けられます。しつけは大切ですが、感情に任せてしまることは子どものためにはなりません。しつけのつもりで行ったことでも、子どもの心身に激しい害を及ぼせば、それは虐待になります。虐待は子どもの心と体、知的発達に影響を及ぼすことがあります。

### 身体的虐待

- 暴力をふるう、戸外に締め出すなど

### 性的虐待

- 性的行為の強要、性器や性交を見せるなど

### 心理的虐待

- 傷つく言葉を言う、無視、きょうだいで差別する、子どもの前で配偶者に暴力をふるうなど

### ネグレクト

- いわゆる育児放棄。家に閉じ込める、食事を与えない、風呂に入らせない、病気になっても病院に連れて行かないなど



## 親の様子

- ◀ 周囲から孤立しがち
- ◀ 子どもへの態度や言葉が否定的
- ◀ 子どもがなつきていない
- ◀ 子どもをよくたたく
- ◀ 子どもを置いつつ頻繁に外出する

- 不自然な傷が多い▶
- 表情が乏しく、おとおどしている▶
- 衣服がいつも汚れている▶
- 家に帰ったがらない▶
- 食べ物に異常な執着がある▶
- ほかの子どもに乱暴する▶

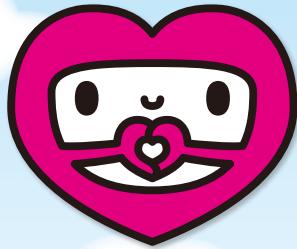
## 子どものサイン



子育て家庭に

お得なサービス

# みんなトクだね応援団



子育て家庭を経済的に支援するため、県内の子育て支援店が加盟する「みんなトクだね応援団」。携帯やスマートフォンからサイトにアクセスし、サービス内容画面を提示すると、約270店で各種サービスが利用できます。毎月19日の「かがわ育児の日」だけの特典や、サイトの地図機能も充実!

「みんなトクだね応援団」には県内約270の店舗や施設が加盟。ショッピングや食事はもちろん、レジャー・医療・理美容・クリーニングまで、多彩なジャンルがそろいます。

毎月19日の「かがわ育児の日」のサービスと、随時利用できるサービスがありますので、お出掛け前にはぜひチェックしてみてください。

**スマホに 対応 充実 地図機能が**

携 帯電話やパソコンに加え、スマートフォンからもアクセス可能です。スマートフォン版では地図機能が充実。検索したお店の周辺情報が得られ、ナビアプリを使えば現在地からのナビゲーションも可能です。

利用したいお店はジャンル、エリア、名前から検索。GPS対応携帯なら、現在地から対象店を絞り込まることができます。

**加盟店数は 約270!**

**「育児の日」特典も**

**アクセス方法**

URLを直接入力する▶ <http://www.19toku.jp>

検索サイトで▶ [みんなトクだね応援団](#) 検索

QRコードから(携帯のみ)

**利用方法は簡単**

- 1 携帯・スマートフォンから「みんなトクだね応援団」にアクセス!
- 2 サイトにアクセス!
- 3 サービス内容を読み込む
- 4 店頭で提示!!

**注意**  
旧サイト(みんな子育て応援団)の会員証表示とは異なります。また加盟店およびサービス内容も異なる場合がありますので、みんなトクだね応援団サイトをご確認ください。

**利用対象者**  
18歳未満のお子様と家計を共にしている家族に限ります。(18歳に達した後、最初に迎える3月31日まで有効)

## みんな子育て応援団大賞 募集

県健康福祉部子育て支援課では、子育て支援に積極的に取り組む団体や企業、店舗などを表彰する「みんな子育て応援団大賞」を募集します。子育て支援の内容について、地域の実情などに応じた特徴的な取り組みをし、広く県内に波及していくような活動をする団体が対象です。営利目的の取り組みは原則として対象外とします。

**対象**

- ◎子育て支援活動を行っている県内のNPO、サークル、ボランティア団体等
- ◎地域子育て支援センターやつどいの広場などの子育て支援施設等
- ◎スーパー、コンビニ、レストランなど各種店舗、医療機関、保育所、幼稚園等公共交通施設で子育て家庭が利用する施設

**応募方法**

- 所定の用紙に必要事項とA4用紙(1~2枚)に具体的な活動内容を記入し同課まで郵送または持参してください。応募用紙はホームページ(<http://www.pref.kagawa.lg.jp/kosodate/shoshi/>)でダウンロードできます。

**募集締切**

2013年1月18日(金)必着

申し込み・問い合わせは

香川県健康福祉部子育て支援課 〒760-8570 高松市番町4-1-10 ☎087(832)3287 FAX087(806)0207  
四国新聞社 〒760-8572 高松市中野町15-1 ☎087(833)1180 FAX087(833)8993

書面審査の上、審査委員会による審査を行い、知事賞と四国新聞社賞を決定。表彰式は2013年3月中旬に行うほか、受賞者の活動は四国新聞オアシスで紹介します。

## 病児・病後児保育

保育所では、子どもが病中(発熱など)や病後(回復期)の場合は預かってくれません。そんな時は一人で無理せず、保護者に代わって子どもを預かってくれる「病児・病後児保育」を利用しましょう。県内では小児科医院や保育所に併設する施設が15カ所あり、看護師や保育士が保育に当たります。利用料金の目安は1日当たり2000円前後。詳しくは下記の実施機関にお問い合わせください。

### 【病児・病後児保育実施機関】

施設名	電話番号
香川医療生活協同組合へいわこどもクリニック病児保育はとっぽ(高松市栗林町)	087-835-2065
トビウメ小児科医院付属病児保育室「子どもの家」(高松市伏石町)	087-865-3111
西岡医院病児保育室「レインボーキッズ」(高松市寺井町)	087-885-2863
小林内科小児科医院付属病児保育室「すこやかルーム」(高松市屋島西町)	087-844-8156
はらこども園病後児保育室(高松市牟礼町)	087-845-0234
おかだ小児クリニック病児保育「おひさま」(丸亀市柞原町)	0877-58-0707
総合病院回生病院(坂出市室町)	0877-46-1011
カナン子育てプラザ21「らっこ」(善通寺市生野本町)	0877-62-3695
にしかわクリニック病児保育室「げんきになあれ」(善通寺市木徳町)	0877-63-6500
三豊総合病院病後児保育室「わたっこ保育園」(観音寺市豊浜町)※改築のため休止中	0875-52-6685
さぬき市民病院病児・病後児保育室「コスマス」(さぬき市寒川町)	0879-43-2521
小児科内科三好医院病(後)児保育室「チャイルド・ケアーシステム・エム」(東かがわ市)	0879-25-3503
土庄町病児・病後児保育室「げんきっこ」(土庄町土庄中央病院内)	0879-62-1211
内海病院・病児・病後児保育室「オリーブキッズ」(小豆島町内海病院内)	0879-82-2121
綾川町病児保育室「うぐいす」(綾川町国民健康保険総合保健施設えがお内)	087-876-1185



### 赤ちゃんの急病に参考になるホームページ

医療ネット講岐 <http://www.medinfo.ne.jp/kagawa/> こどもの救急 <http://kodomo-qq.jp/>

## 専門の相談窓口 子どもの健康管理や育児相談

### ■保健所・保健センター

乳幼児の発育や発達、言葉などの相談事業や親子教室など。

### ■児童家庭支援センター

児童家庭支援センターけいあい 0879-25-6067 児童養護施設に併設。地域の関係機関と一緒に、子どもと家庭についての相談。

### ■児童相談所

子どもや家庭に関するさまざまな相談(子育ての心配や不安、言葉や発達の遅れが心配など)。

県子ども女性相談センター 087-862-8861 県西部子ども相談センター 0877-24-3173

■子育てホットライン 県教育委員会 087-861-4951 家庭教育の悩みや不安に関する電話相談。

■子どもホットライン 県教育委員会 087-835-7867 いじめなど、子どもからの電話相談に、応じています。

## 【第3子3歳未満児 病児・病後児保育が無料】

平成24年度より第3子3歳未満児の児童の病児・病後児保育利用料が無料になります。ただし、実費(昼食・おやつ代、延長料金等)は除きます。無料でサービス受けるには、市町が発行する証明証を実施施設に提示することが必要です。

### 【県市町お問い合わせ先】

(2012年4月1日現在)

県・市町担当課	電話番号
香川県健康福祉部子育て支援課	087-832-3284
高松市健康福祉局子育て支援課	087-839-2354
丸亀市健康福祉部子育て支援課	0877-24-8808
坂出市健康福祉部こども課	0877-44-5027
善通寺市健康福祉部子ども課	0877-63-6365
観音寺市健康福祉部子育て支援課	0875-23-3962
さぬき市健康福祉部福祉事務所子育て支援課	0879-52-2517
東かがわ市民部子育て支援課	0879-26-1231
三豊市健康福祉部福祉事務所子育て支援課	0875-73-3016
土庄町教育委員会教育総務課	0879-62-7012
小豆島町教育部子育ち共育課	0879-82-7010
三木町住民生活課	087-891-3303
直島町教育委員会	087-892-2882
綾川町健康福祉課	087-876-1113
宇多津町保健福祉課	0877-49-8003
琴平町福祉課	0877-75-6706
多度津町福祉保健課	0877-33-4488
まんのう町教育委員会事務局学校教育課	0877-73-0108

### ■問い合わせ／県健康福祉部子育て支援課

087-832-3287



▲音楽劇のワンシーン。「浅野の田んぼに水が入り、田植えができるた！」と歌っています



▲ひょうげフェスタの様子。本番と同様に派手な衣装と化粧の子どもたち



こども探検隊

高松市立  
浅野小学校

# 「町民」として参加 授業で衣装を準備

ひょうげ祭りを通じて郷土愛育む

浅野八王子八幡神社に隣接し、緑豊かな環境で教育に取り組む高松市立浅野小学校。総合学習・通称「八王子学習」の時間にお年寄りを招いて地域の歴史や昔の遊びを学んでいるほか、1999年からは学校を上げて地元の祭り「ひょうげ祭り」にも参加しています。

## 町を代表する奇祭 ため池築いた先人偲ぶ

夏

2日曜日、浅野地区に江戸時代から伝わる「ひょうげ祭り」が行

われます。ひょうげの語源は、おどけるという意味の「ひょうげる」。

子どもたちは紙で作った奇抜な衣装を身にまとい、顔には派手な化粧。

大人に交じって、集落センターから新池までの2キロを汗をかきかき練り歩きます。

始まりは江戸時代。水不足に悩む浅野地区的農民のため、高松藩からため池づくりを命じられた矢延平六。今も残る県有数のため池「新池」の築造に成功したものの、「高松城を水攻めにするために池を造った」と誤解を受け、阿波国に追放さ

れました。ひょうげ祭りは、彼を慕う農民たちが化粧で表情を隠して抗議した時の行列を再現し、水に感謝する祭りです。

## 新しく音楽劇披露 「ひょうげフェスタ」

校内では祭りへの参加に加え、2001年から本番直前の木曜日に

催。祭りと同じ衣装と化粧の児童た

ちが、保護者や祭り保存会のメンバーらとともに派手なお練り行列や劇を繰り広げます。

中心となるのは、4年生。3年生は来年になったら自分たちがやるん

だと目を輝かせ、5、6年生はこれまでの経験を生かして4年生の化粧を手伝えます。今年は新たに20分間の音楽劇「ひょうげ・水物語」も発表。音楽の十河敏子教諭と4年の担任教諭らが作った歌は、「町民の『水がないので平六さんに頼もう』で始まり、平六が「池を造ろう」と考えた」という歌詞です。

## 世代を超えた交流で 考える力養う

世代を超えて皆で作り上げるひょうげ祭りは、子どもたちが郷土への愛着を育む良い機会。準備する中で保護者や婦人会、祭り保存会などとのやり取りも多く、大人たちとの交流を通じて地元の新たな魅力を発見するきっかけにもなっています。



▲「どこから来たの?」「ひょうげ祭りは好き?」と、参加者らにインタビューも



満濃なぎなたスポーツ少年団

## 礼と基本の形を大切に

創設から間もなく30年を迎える「満濃なぎなたスポーツ少年団」。今夏のインターハイの演技種目で優勝した実績を持つ強豪です。現在小学2年～高校3年の42人が在籍しています。

なぎなたは、防具を付けて相手の面やスネを打つ「試合」と、指定された技をペアで披露する「演技」があります。「県内のチームの多くは形を重視。時間をかけて基本の形を稽古しています」と代表の大岡久美さん。多い時は1時間近くをかけて、面やスネといった部位の基本を徹底的に極めます。基本ができてこそ、試合で生かすことができるといいます。

指導方針は「人に優しく、自分に厳しく、何事にも努力を惜しまないこと」。稽古中にもお互いの良いところや気になるところを伝え合い、成長につなげています。また、あいさつや作法など礼

を大切にするのは武道ならでは。声をしっかり出すことや、後片付けをきちんとするこも自然に学んでいきます。

小学校に入学する前から在籍している高篠小6年の岡川瑞歩さんは、試合に向け稽古に熱が入っている様子。「上達して結果が出るのがうれしい。低学年のころは稽古がつらいこともあったけど、今は試合に出場するのが楽しみ。ずっと続けていきたい」と話してくれました。

稽古は毎週火・木・土曜(木曜は中学生以上)の午後7時から1時間半程度。場所はまんのう町四條の満濃農村環境改善センター。初心者でも見学・参加できます。

### 問い合わせ

代表／大岡 久美さん  
☎0877(73)3665



▲緊迫した空気の中、相手と息を合わせて技の向上を図る「演技」の稽古。姿勢の美しさや互いの声の調和も大切です



▲自分の身長より長いなぎなたを持って「試合」の稽古。おとなしかった子も、稽古を重ねるごとに大きな声が出せるようになります



自然の中で思いっきり体を動かす!

# 満濃池森林公園

空海ゆかりの日本一のため池「満濃池」の西南にある満濃池森林公園。64ヘクタールの広い園内では、芝生広場や遊具、休憩スペースなどを設置。周りを気

にせず走りまわったり、スポーツを楽しめるほか、自然の中の散歩や自然観察も楽しめます。お弁当を持って、1日かけて遊びに行きましょう。

## 森林学習展示館

公園内や周辺の森林で見られる樹木や野鳥の情報をパソコンや展示品で学べる場所。これから季節は渡り鳥も飛来し、より多くの野鳥を見る事ができます。自分たちが見つけた鳥について調べるのも楽しいはず! 月1回行われるイベントの舞台になることもあります。

## 森林の館

靴を脱いで遊べるキッズスペースやトイレ、自動販売機などを設置。赤ちゃんや小さな子どもがいる家族には心強い施設。幼児なら、ここ第2運動広場だけでも満足できそう。

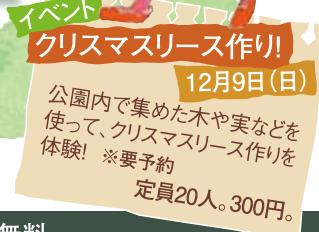
## ファミリー広場

ファミリー広場には、滑り台やブランコも組み込んだ大型遊具があり、思いっきり体を動かして遊べます。隣の運動広場や芝生広場では、ボール遊びやバドミントンなどもOK!

ファミリー広場前には、迫力満点のメタセコイアの巨木もあります。香川県と縁の深い木なので、ぜひ実物を見てみて。



まんのう町七箇字三田4109-24 ☎0877(78)3364(指定管理者／香川県造園事業協同組合) 入場無料  
9月～3月は午前8時～午後5時半、4月～8月は午前7時半～午後7時 無休 休園日は12月31日～1月3日



クリスマスリース作り!  
12月9日(日)  
公園内で集めた木や実などを  
使って、クリスマスリース作りを  
体験! ※要予約  
定員20人。300円。





▲遊びの後はみんなで仲よくおやつの時間



こども探検隊

のぞみ保育園  
善通寺市



▲年3回行われるエンジェルコンサート。プロの演奏を聞くことができます

地域のニーズに応え乳幼児の健全な育成を目指す  
**親子共に遊び合う**  
善通寺市上吉田町の、のぞみ保育園内で月に1回行われている「なかよし広場」。未就園児とその保護者が気軽に訪れることができ、家でもできる遊びを教わっています。また情報交換や交流の場としても役買っています。

## 親子のふれあいと 保護者同士の対話

なかよし広場」は、核家族化や転勤世帯の増加に伴う子育ての悩みを少しでも解消したい、との思いから2007年にスタート。毎月1回、午前10時から約1時間程度手遊びや歌などを楽しみます。

取材当日は「わらべ歌あそび」が行されていました。初めは少し緊張していた幼児も、保育士が数字にちなんだ絵巻物をわらべ歌にのせて歌いだすと表情がぱあっと明るくなりまます。体を動かしながらにこにこ楽しむ様子に、保護者同士の会話もあります。体を動かしながらにこにこします。わらべ歌はどれも親子でふれあいながら楽しめるものばかり。ひざの上に乗せたり、抱きしめたりしながらスキンシップが十分

に取れるよう配慮されています。

「ちょっとした手遊びやハンカチ遊びを覚えておくと、病院などの待合や公共施設でぎずった時にいいですか」と丸野あゆみ先生。「お母さんは同士が会話をする時間も意識していますよ」と丸野あゆみ先生。「お母さん同士が会話をする時間も意識しています。子育ての悩みを「分かること」と共感してもらえるだけで楽になるもの」と話します。

遊び終わると次はおやつの時間。子供たちは好きなおやつを食べ、親は保育士を交えて育児の話に花が咲きます。ミルクの量やお昼寝の時間、食事の回数など、ちょっととした相談をみんなで共有し、不安を解消しています。

## 園の行事にも参加 プロの音楽を楽しむ

びを行っていますが、年に3回行われるエンジェルコンサートは特に人気のイベントです。プロの音楽家が来園し、フルートや琴の演奏、バイオリン、チェロ、ピオラの三重奏やオペラなどを鑑賞することができます。「本格的な演奏を子どもと気兼ねなく楽しめるのでうれしい」との感想が寄せられ、参加者も増加しています。

「どんどん外に出て、たくさんの人と知り合い、お母さんも一緒になつて楽しんでほしい。ストレスをため込まないで。これからもより多くの人に参加してもらえれば」と清水年志子園長。「なかよし広場」の時間が終わった後も園庭を開放するなど、気軽に通える雰囲気作りにも気を配っています。

臨床心理士も来園し、専門的なアドバイスがもらえるなどバックアップ体制も万全。たくさんの人の力を借り安心して子育てができる環境が整えられています。



▲タオルを使ってゆりかご遊び。ゆらゆらと気持ちが良さそうです

# 作品作りを通じて 園児の成長を実感

こども探検隊

琴平町立北幼稚園

琴平町立北幼稚園（園児数26人）では、地域との交流や保護者の保育の参加機会の増加などを目的に、毎年11月上旬に作品展を開催。作品展に展示するクリスマスリース作りに、4・5歳児との保護者が挑戦。その様子を取材しました。

今 年の作品展は「歩」がテーマです。

マ。「園児と保護者」「園児と祖父母」「個人」「異年齢」の4部門で、それぞれテーマに合わせて製作した作品を展示しています。

クリスマスリース作りでは、日本保護協会自然観察指導員を講師に迎え、親子で取り組みました。あらかじめ地元の山で採取したアオツヅラフジのつるを円形にしたものに、ユーカリやゲッケイジュの葉、松ぼっくり、ドングリなど）でデコレーションをします。最初こそ「どんな飾り付けにしよう…」と迷っていましてが、作り始めると、ハサミやグルーランなどを器用に使いながら、作業を進めます。

家から持参した造花やリボン、小物などでオリジナル感を出し、世界に一つの作品を作り上げました。普段、仕事で忙しい保護者も園児と一緒に作業を進めていました。

作品展は2日間に渡って行われ、金などに寄付しています。今後も「開かれた幼稚園」を目指し、地域一体となって子育てに取り組みます。

## 地域の人や家族を招待 異年齢交流で心も成長



▲祖父母と一緒に木工作品作りに挑戦！

ました



▶保護者の手伝いをしながら、作業を進めていました



琴平町立北幼稚園（園児数26人）では、地域との交流や保護者の保育の参加機会の増加などを目的に、毎年11月上旬に作品展を開催。作品展に展示するクリスマスリース作りに、4・5歳児との保護者が挑戦。その様子を取材しました。

今年の作品展は「歩」がテーマです。

マ。「園児と保護者」「園児と祖父母」「個人」「異年齢」の4部門で、それぞれテーマに合わせて製作した作品を展示しています。

クリスマスリース作りでは、日本保護協会自然観察指導員を講師に迎え、親子で取り組みました。あらかじめ地元の山で採取したアオツヅラフジのつるを円形にしたものに、ユーカリやゲッケイジュの葉、松ぼっくり、ドングリなど）でデコレーションをします。最初こそ「どんな飾り付けにしよう…」と迷っていましてが、作り始めると、ハサミやグルーランなどを器用に使いながら、作業を進めます。

作品展は2日間に渡って行われ、金などに寄付しています。今後も「開かれた幼稚園」を目指し、地域一体となって子育てに取り組みます。

祖父母と協力して木工作品を作ったり、「夢」がテーマの大きな壁画を園児全員で作ったり…。みんなで協力して作品作りを盛り上げます。「異年齢で作品作りをすることでお互いに刺激しあい、心の成長につながっています」とは松浦初美園長。園内で行う作品展には地域の人はもちろん、隣接する象郷小の1年生や琴平町立北保育所の児童も招待。園児自ら工夫したところや頑張ったところなどを説明し、交流を図ります。